

## 第11回 演習課題への挑戦(4)

### 今後のスケジュール

第11回 (2011-06-29)	レポートのタイトルを決定して、レポートの方針を決める
第12回 (2011-07-06)	レポートに必要な資料を収集して、整理する レジュメ(下書き)を作成して、提出する
第13回 (2011-07-13)	自分のレポートを作成して、添削を受ける
第14回 (2011-07-20)	レポートを完成して、提出する プレゼンテーションの練習をして、その内容を見直す
第15回 (2011-07-27)	最終のプレゼンテーションして、内容をお互いに評価する

### レポートを作成する

#### レポートとは

- 感想文は、自分の経験や自分の気持ち・感情を書き表したもの(主観的な見方)
  - 印象に残った事柄・文章とその理由を述べる
  - 「もし自分なら」「こういう状況なら」など仮定して考えてみる
- レポートは、調査や実験の結果わかった『事実』と、それに基づく自分の『意見』をまとめたもの
  - 事実: 内容が本当かどうか(真か偽か)客観的に確かめられる
  - 意見: 書き手の考え(判断、推測)をあらわしている(客観的な事実に基づく)

### レポート作成の手順

#### タイトルの決定から資料の収集へ

1. 背景の把握
  - 大まかなテーマに関する基本的な情報を集める(新聞、インターネット、事典など)
  - テーマとなっている問題や課題について、全体像や大まかな内容を理解する
2. 問題提起
  - (与えられた)大きなテーマから、具体的なテーマに絞り込む
  - 社会的な問題点や疑問点、興味・関心のある具体的な事柄、また明らかにしたいと思う事柄を明確にする
3. 仮説の提示・主張
  - それらの事柄への対応策・解決策に関する自分なりの考えを仮説として述べる
  - また、調査や研究の必要性やその方針を検討する
4. 主題(表題)の決定
  - 問題提起や自分の仮説(主張)をもとに、その主張や内容が伝わる、具体的なタイトルを考える
5. 資料の収集・整理
  - 問題とした事柄や自分の仮説(主張)を裏付けるような、資料を収集する
  - 専門図書や雑誌・論文など、具体的なテーマに関する文献(先行研究、参考文献)を集めて、整理する
6. レポートの構成の検討、テーマの再検討
  - 集めた資料をもとに、レポート全体の構成(アウトライン)を検討する
  - 集めた資料から、テーマをさらに絞り込んだり、考えなおしたり、再検討する

## レポート作成のスケジュール

---

たとえば、2週間程度で書く場合は、次のようなスケジュールになる

1. 大まかなスケジュールを立てる(1日程度)
2. 話題(テーマ)を絞り込み、レポートでの主張を決める(5~6日程度)
  - 資料を集めて整理する(3~4日程度)
  - 全体の構成やアウトライン(大まかな内容;骨組)を決める(1日程度)
3. レポートを執筆する(1週間程度)
  - 本文を書く
  - 表やグラフを作成する
4. レポートを推敲する(1日程度)
5. レポートを提出する

## レポートの構成

たいていのレポートは「序論」「本論」「結論」の三部構成になっている。

- 序論「読む人に向けて、これから何について、なぜ書こうとするのかを知ってもらう」
  - 背景の説明:前提なる知識や事実を紹介
  - 問題の提起:そのテーマのどこに問題点・疑問点を見つけたのか
  - 目的の提示:何を明らかにしようとするのか
- 本論「問題提起したことへの答えを出す」
  - 事実の提示:事実を明らかにする(複数の)
  - 意見の提示:事実に基づく意見を述べる
  - 最終的な主張の提示
- 結論「全体を通しての主張をまとめる」
  - 全体のまとめ:これまで述べてきたことを整理し、最終的な主張の妥当性を確認してもらう
  - 評価と展望:成果について客観的に評価し、今後どのように発展させるか

## 参考文献

- 南田勝也・矢田部圭介・山下玲子「ゼミで学ぶスタディスキル」,北樹出版(2011.04)
- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第3版」,くろしお出版(2011.03)
- 中澤務・森貴史・本村康哲編「知のナビゲーター」,くろしお出版(2007.04)
- 石坂春秋「レポート・論文・プレゼン スキルズ」,くろしお出版(2003.03).
- 佐藤望編著,湯川武,横山千晶,近藤明彦「アカデミック・スキルズ」,慶応義塾大学出版会(2006.10).
- 小笠原喜博「大学生のためのレポート・論文術」(講談社現代新書 1603),講談社(2002.04).
- 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第3版」,慶応義塾大学出版会(2002.12).
- 泉忠司「90分でコツがわかる!『論文&レポート』の書き方」,青春出版社(2009.07).